

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	警察官
	モルフェウス					
オプション			年齢	29	性別	男
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	37	%
出自	犯罪者の子	経験	永劫の別れ	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	54
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	1	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アリベイトスーツ		5		-1	ラウンド一回 ダメージ-5

所持品	
思い出の一品 (集合写真)	
自転車	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: 警察官	

合計装甲: 5    合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
D: 守護者	P	N	
	P	N	
S: 家族	P 幸福感	N 悔悟	
島の人達	P 好意	N 不安	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 6    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
巨人の生命	5		常時	至近	自身	自動		
効果:	最大HP+[Lv*5] 侵蝕率+3							
龍鱗	3	3	リア	至近	自身	自動		
効果:	リアクション放棄 装甲値+[Lv*10]							
ヒール	3	2	メジャー	視界	単体	自動		
効果:	HPを[LvD+精神]点回復							
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	カバーリング 1メイン1回							
イージスの盾	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード値+LvD							
ディスマントル	4	3	オート	視界	単体	自動		
効果:	ダメージロール直前 ダメージを-[Lv*3] ラウンド1							
高速錬成	2	3	メジャー		範囲(選択)	自動		
効果:	自動成功のエフェクトの範囲変更 シナリオLv回							
獣王の献身	1	3, 120↑	オート	至近	単体	自動		
効果:	単体攻撃の判定直後に使用、対象を自身に シナリオLv回							
スピードヒール	1	4, 120↑	イニシアチブ	視界	単体	自動		
効果:	対象のHPを5D点回復 自身はHP5点消費 シナリオLv回							
獣の誇り	2	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード時に宣言、メイン間バステの効果を受けない シーンLv							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「この力は誰かを守るために使うべきなんだ。人に向けて使っちゃいけない、人を殺してはいけないって、そう決めたんだ。」

警察官のオーヴァード。1年前に能力が発現、力の制御の為にUGNにも身を置くことになる。  
 キュマイラのシンドロームにより凄まじい怪力能力を発揮する。  
 覚醒時の暴走でその力を人に振るって以来、力を人に向けて使わないようにしている。  
 戦闘で力を活かそうとしない、諜報能力が高いわけでもない、ということでUGN内部では「役立たず」扱いである。  
 強いて言えば、耐久力があり図体がでかいので、壁や囮役として使われたり、微妙な支援をしたり  
 添え物的な扱いをされることが多いが、本人は「役に立てる」と言っている。  
 その巨体と顔つきのせいで、よく初対面の人に怖がられるのが悩み。  
 「面影島」に赴任することになった。平穩に暮らしたいと思っていたのでちょっとうれしい。島の人とどう仲良くなるかを考えている。  
 砂や鉱石を生み出す能力を持っている。能力使用時、キュマイラの因子により狼男のような姿に近づいていく。

10年前、彼は恋をした